

京都市立芸術大学 新型コロナウイルス感染予防ガイドライン (学生用)

1 はじめに

6月19日以降、学部長又は研究科長が感染症防止対策に最大限配慮できていると認めた授業等を除いては、引き続き登校していただくことはできませんが、登校が認められた場合に学生の皆さんに守っていただきたいことをまとめました。

また、登校に関係なく日常生活において実践していただきたいこともまとめています。

1 一人ひとりの行動でお互いを大切にしてください。必ず最後までよく読んで実践してください。

2 学生生活について

国の専門家会議で示された「新しい生活様式」を積極的に実践しましょう

(1) 一人ひとりの基本的対策

感染防止の3つの基本

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔はできるだけ2m (最低1m) 空ける
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ
- 会話をする際は可能な限り真正面を避ける
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う (手指消毒薬の使用も可)

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には体調管理をより厳重に

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 帰省や旅行はひかえめに
- 発症したときのため誰とどこで会ったかをメモにする
- 地域の感染状況に注意する

(2) 日常生活での基本

- まめに手洗い・手指消毒
- まめに換気
- 3密の回避 (密集 密接 密閉)
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養
- せきエチケットの徹底
- 身体的距離の確保

(3) 生活場面ごとの生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人又は少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽 スポーツ等

- 公園はすいた時間や場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌 グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

3 大学の利用に当たって

(1) 家を出る前に

○毎日体温や症状の有無をチェックしましょう

○発熱や咳・のどの痛みがあるときはムリせず自宅で療養しましょう

以下の学生ポータルサイトに、体温と症状を記録できる健康管理票があります

https://sites.google.com/a/st.kcua.ac.jp/student/info_coronavirus/jiakangguanchapiao

(2) 公共交通機関では

○電車やバスなどの公共交通機関では、マスクの着用、咳エチケットを励行するとともに、密閉空間での会話を控えましょう

(3) 大学内では

○大学内の各建物の入り口で手指のアルコール消毒をしましょう

- 人との間隔はできるだけ2 m（最低1 m）空けましょう
- 症状がなくてもマスクを着用しましょう。ただし、熱中症予防のため、屋外で人との距離を2 m以上確保できる場合等は適宜マスクを外しましょう
- 手洗いは30秒かけて、水と石けんで丁寧にこまめに洗いましょう
- 食堂・リブレの再開の目途は立っていません

(4) クラブ・同好会活動

- 感染症防止対策に最大限配慮できていると認められたものについてのみ、少人数で実施できます
- 合宿、遠征、懇親会、対外試合の参加、発表会の開催などはできません

4 新型コロナウイルス感染症が心配なとき

(1) 帰国者・接触者相談センターへの相談

以下の症状が見られるときは、お住いの自治体の帰国者・接触者相談センター（京都市 075-222-3421、京都府 075-414-4726）へ相談するとともに、登校は控えてください。

○「息苦しさ（呼吸困難）」、「強いだるさ（倦怠感）」、高熱等の強い症状のいずれかがあがある。

○重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある。

（※）重症化しやすい方（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患等）等の基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）、妊娠中の方はすぐに相談してください。

○上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている。

（症状が4日以上続く場合。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合には相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

(2) 大学への報告

帰国者・接触者相談センターに相談した場合、新型コロナウイルス感染症に感染した場合又は濃厚接触者に該当する場合は、以下の内容を教務学生課までメールで報告してください。

ア 報告内容 症状、受診する（した）医療機関

イ 報告先 教務学生課学生・国際担当（student@kcua.ac.jp）